

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Stage IV 胃がんにおける Conversion therapy (Adjuvant surgery)の意義に関する国際多施設共同後ろ向き研究(CONVO-GC01)試験におけるサブグループ解析
	研究目的	本研究の目的はアジアでの Stage IV 胃癌に対する Conversion therapy(Adjuvant surgery、化学療法後に行う根治的胃切除のこと)の現状を明らかにするとともに、Stage IV の要因によって分類されたカテゴリーに沿ったサブグループ解析を行い、それぞれの Stage IV の要因毎に Conversion therapy の治療成績を検討することを目的とする。
	研究対象者	CONVO-GC01)試験に登録した 29 症例。 1.病理学的に胃癌と診断された症例。 2.Stage IV 胃癌で切除不能と診断されたが、化学療法が奏効し切除が見込めると判断され、原発巣、転移巣が切除された症例。 3.Stage IV 胃癌で少数の肝転移や大動脈周囲リンパ節転移(#16a2,#16b1)など治癒切除が可能と判断されたが、化学療法を先行し、化学療法後に切除を目指して原発巣、転移巣が切除された症例。 4.審査腹腔鏡にて腹膜播種、または洗浄細胞診陽性と診断されたが、化学療法が奏効し、腹膜播種転移が陰性となり切除を目指して原発巣切除された症例もしくは原発巣が切除された症例
	研究期間	西暦 2019 年 2 月 27 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	山田貴允
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	消化器外科 FACO (Federation of Asian Clinical Oncology) 日本癌治療学会 (Japan Society of Clinical Oncology) 韓国臨床腫瘍学会 (Korean Association for Clinical Oncology) 中国臨床腫瘍学会 (Chinese Society of Clinical Oncology)